



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年11月6日

上場会社名 株式会社ヨシックス 上場取引所 東・名
 コード番号 3221 URL https://www.yossix.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼CEO (氏名) 吉岡 昌成
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営企画室室長 (氏名) 松岡 龍司 (TEL)052(932)8431
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績 (2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,303	△53.6	△1,278	—	△692	—	△499	—
2020年3月期第2四半期	9,281	7.0	1,125	14.0	1,298	11.6	804	7.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△48.41	—
2020年3月期第2四半期	78.01	77.79

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	11,405	7,160	62.8	693.81
2020年3月期	10,789	7,784	72.1	754.24

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 7,160百万円 2020年3月期 7,784百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2 2021年3月期の配当金につきましては、第2四半期末配当金は無配とし、期末配当金は未定であります。
 なお、配当予想については2020年8月7日公表の「第2四半期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想につきましては、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	10,321,200株	2020年3月期	10,321,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	261株	2020年3月期	261株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	10,320,939株	2020年3月期2Q	10,316,578株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

新型コロナウイルスの感染拡大が事業活動及び経営成績に与える影響により、業績予想の適正かつ合理的な算定が困難であることから、今回の業績予想を開示しておりません。なお、今後適正かつ合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、緊急事態宣言の解除により経済活動が再開されるなか、景況感を持ち直しに転じるものの、需要低迷が続く業種などを中心に回復は限定的となる見通しが続き、以前にもまして不透明な状況が増しております。

外食業界におきましては、人口減や高齢化による食需要の縮小、顧客の節約志向の高まりによる低価格化の進行、コンビニエンスストアや食品スーパー等の品揃え拡充に伴う中食市場の拡大、消費税増税の影響、新型コロナウイルス感染症拡大による営業自粛や営業時間短縮等により経営環境は極めて厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社は新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら、新規エリアへの出店、既存店のリニューアルオープンとして3店舗の改装を行いました。

「や台ずし」業態は新規出店5店舗を実施し、店舗数が249舗（フランチャイズ含む）となり、総店舗数の77.1%を占め、当業態の売上高は3,610百万円となりました。

均一低価格居酒屋である「ニパチ」業態は、新規出店1店舗を実施し、59店舗となり、総店舗数の18.3%を占め、当業態の売上高は535百万円となりました。

また、全店休業期間に対応した雇用調整助成金の申請に伴い、雇用調整助成金411百万円を受領いたしました。

以上の結果、店舗数につきましては、新規出店6店舗、退店26店舗を実施し、当第2四半期会計期間末の店舗数は323店舗（フランチャイズ含む）となりました。また、当第2四半期累計期間における売上高は4,303百万円（前年同期比53.6%減）、営業損失は1,278百万円（前年同期は営業利益1,125百万円）、経常損失は692百万円（前年同期は経常利益1,298百万円）となり、四半期純損失は499百万円（前年同期は四半期純利益804百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は11,405百万円、負債は4,245百万円、純資産は7,160百万円であり、自己資本比率は62.8%となりました。

(流動資産)

流動資産につきましては前事業年度末に比べ316百万円増加し、7,495百万円となりました。これは主に現金及び預金が385百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産につきましては前事業年度末に比べ299百万円増加し、3,910百万円となりました。これは主に土地が90百万円及び繰延税金資産が207百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債につきましては前事業年度末に比べ946百万円増加し、3,307百万円となりました。これは主に預り金が287百万円及び短期借入金が500百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債につきましては前事業年度末に比べ293百万円増加し、937百万円となりました。これは主に、長期借入金が317百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては前事業年度末に比べ623百万円減少し、7,160百万円となりました。これは主に利益剰余金が623百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べて265百万円増加し、5,496百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は、45百万円（前年同四半期は183百万円の獲得）となりました。これは主に、税引前四半期純損失688百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は前年同四半期に比べ29百万円増加し、490百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出460百万円及び、定期預金の払戻しによる収入480百万円の増加によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は、801百万円（前年同四半期は156百万円の使用）となりました。これは主に、短期借入れによる収入500百万円及び長期借入れによる収入500百万円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予測につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難な為、未定としております。

新型コロナウイルス感染対策による外出自粛要請、店舗の休業要請は当社業績に多大な影響を与えます。業績予想につきましては開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,570,841	6,956,215
売掛金	216,587	174,636
完成工事未収入金	1,997	709
たな卸資産	168,678	142,404
その他	220,941	221,299
流動資産合計	7,179,046	7,495,265
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,248,260	2,291,171
その他	586,877	664,286
有形固定資産合計	2,835,137	2,955,457
無形固定資産	4,384	4,121
投資その他の資産	771,358	950,943
固定資産合計	3,610,880	3,910,521
資産合計	10,789,927	11,405,787
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	500,150	370,639
短期借入金	—	500,000
1年内返済予定の長期借入金	45,000	152,905
未払金	695,608	812,090
未払法人税等	389,967	431,240
その他	730,253	1,040,613
流動負債合計	2,360,980	3,307,488
固定負債		
長期借入金	5,413	322,928
役員退職慰労引当金	398,511	410,157
その他	240,542	204,441
固定負債合計	644,466	937,526
負債合計	3,005,446	4,245,014
純資産の部		
株主資本		
資本金	335,894	335,894
資本剰余金	363,999	363,999
利益剰余金	7,084,067	6,460,507
自己株式	△515	△515
株主資本合計	7,783,445	7,159,885
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,035	887
評価・換算差額等合計	1,035	887
純資産合計	7,784,480	7,160,772
負債純資産合計	10,789,927	11,405,787

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	9,281,363	4,303,881
売上原価	2,903,835	1,458,681
売上総利益	6,377,527	2,845,200
販売費及び一般管理費	5,252,027	4,123,285
営業利益又は営業損失(△)	1,125,500	△1,278,084
営業外収益		
協賛金収入	167,082	164,049
雇用調整助成金	—	411,475
その他	5,901	10,092
営業外収益合計	172,984	585,616
営業外費用		
支払利息	7	223
その他	—	21
営業外費用合計	7	245
経常利益又は経常損失(△)	1,298,477	△692,713
特別利益		
固定資産売却益	2,601	483
受取補償金	13,763	—
受取保険金	—	4,885
特別利益合計	16,364	5,369
特別損失		
固定資産除却損	883	1,481
減損損失	11,765	—
特別損失合計	12,648	1,481
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	1,302,193	△688,825
法人税、住民税及び事業税	470,113	18,089
法人税等調整額	27,252	△207,205
法人税等合計	497,366	△189,116
四半期純利益又は四半期純損失(△)	804,827	△499,708

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	1,302,193	△688,825
減価償却費	188,608	193,662
長期前払費用償却額	7,400	6,759
減損損失	11,765	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11,529	11,646
受取利息及び受取配当金	△988	△1,273
支払利息	7	223
固定資産売却益	△2,601	△483
固定資産除却損	883	1,481
受取補償金	△13,763	—
受取保険金	—	△4,885
雇用調整助成金	—	△411,475
売上債権の増減額 (△は増加)	8,452	43,239
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,994	26,273
仕入債務の増減額 (△は減少)	△566,459	△127,298
未払金の増減額 (△は減少)	△120,174	116,482
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△73,650	99,309
前受収益の増減額 (△は減少)	△1,907	△12,670
長期前受収益の増減額 (△は減少)	△17,733	△43,451
その他	△78,833	333,191
小計	651,735	△458,094
利息及び配当金の受取額	988	1,273
利息の支払額	△7	△224
法人税等の支払額	△482,972	—
補償金の受取額	13,763	—
雇用調整助成金の受取額	—	411,475
営業活動によるキャッシュ・フロー	183,507	△45,570
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,280,000	△1,740,000
定期預金の払戻による収入	1,140,000	1,620,000
固定資産の取得による支出	△301,328	△403,992
固定資産の売却による収入	2,601	483
差入保証金の差入による支出	△21,876	△5,057
差入保証金の回収による収入	5,478	13,054
貸付金の回収による収入	60	—
長期前払費用の取得による支出	△6,010	△2,275
預り保証金の受入による収入	—	7,350
保険積立金の払戻による収入	—	20,000
その他	△133	△123
投資活動によるキャッシュ・フロー	△461,208	△490,560
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	500,000
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△33,314	△74,580
配当金の支払額	△123,767	△123,915
ストックオプションの行使による収入	570	—
その他	△5	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△156,516	801,504
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△434,217	265,373
現金及び現金同等物の期首残高	5,751,788	5,230,841
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,317,571	5,496,215

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、店舗の休業及び営業時間の短縮等により業績は大きく影響を受けております。新型コロナウイルス感染症の収束時期等を正確に予測することは困難な状況ではありますが、感染症拡大前の水準まで回復するには年度末までの期間を要すると想定し、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損等の会計上の見積りを行っております。